

慢性の痛みをとりまく状況と これまでの経緯について

厚生労働省健康局疾病対策課

慢性疾患の更なる充実に向けた検討会

＜検討概要抜粋＞

平成21年8月26日

- 慢性疾患の中でも、系統的な取り組みがなされていない**筋・骨格系及び結合組織の疾患**、慢性閉塞性肺疾患（COPD）などについては、QOL向上に向けた支援などを求める患者ニーズにいかに対応していくかといった視点から、施策のあり方を検討していくことが重要である。
- 特に、受療頻度の高い疾患に共通する課題である**慢性疼痛**は、当該疾病を有する者のQOLに大きな影響を与えており、身体面、精神面及び社会面が複雑に関与しているため、診療科を超えた**全人的なアプローチ**が求められる。

慢性の痛みに関する検討会

本検討会での検討項目

対象

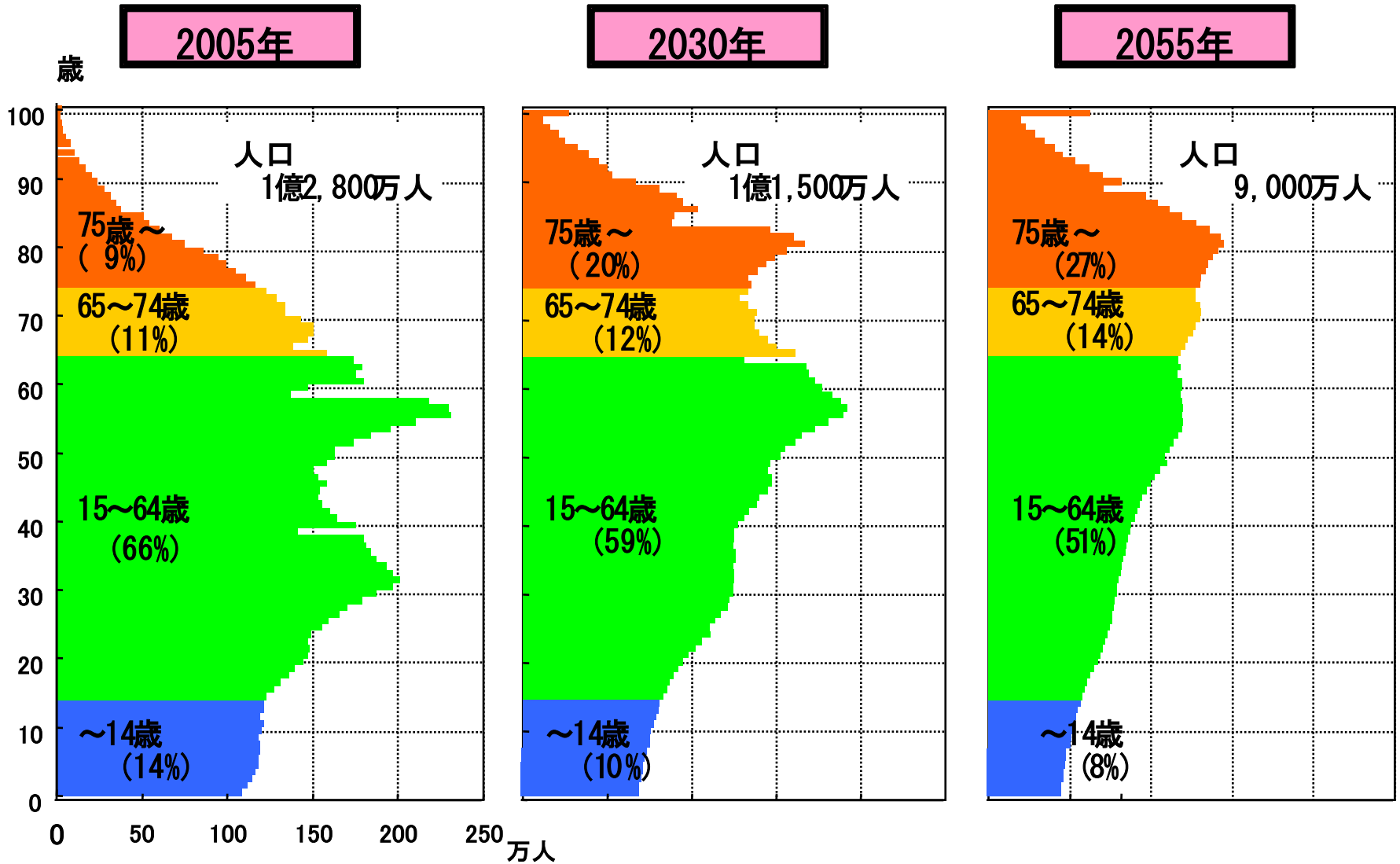
- 慢性の痛み(がん性疼痛は除く)
- 筋骨格系および結合組織の疾患

論点

- 慢性の痛みを取りまく課題を整理
- 今後の痛み診療に必要なこと

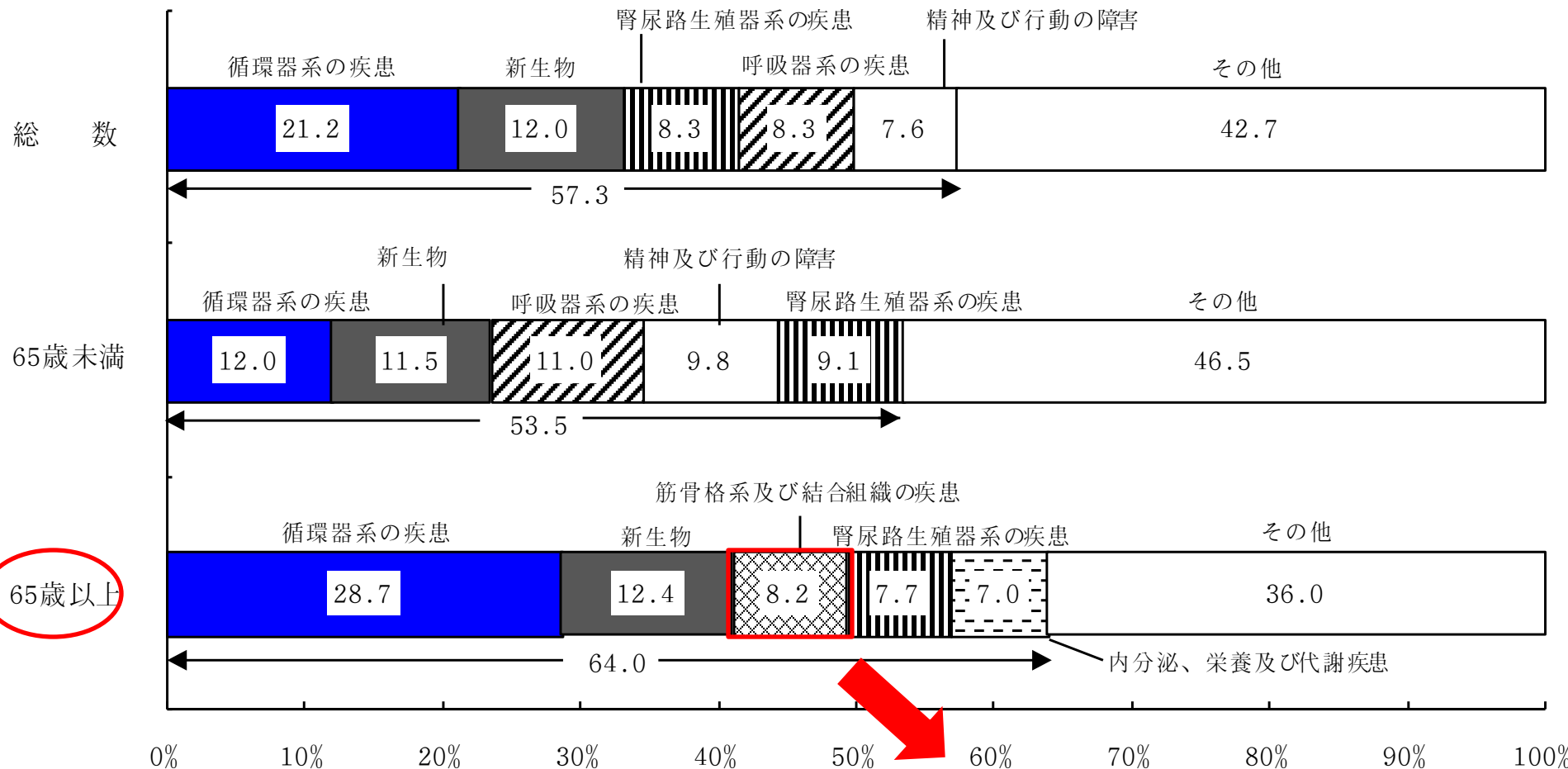
筋骨格系および結合組織の疾患と 慢性の痛み

人口の将来推計



一般診療医療費構成割合(上位5傷病別)(%)

平成19年度国民医療費の概況



注 1) 傷病分類は、「第10回修正国際疾病、傷害及び死因分類」による。
 2) 「その他」とは、上位5傷病以外の傷病である。

筋骨格系及び結合組織の疾患

筋骨格系および結合組織の疾患と慢性の痛みに関するデータ

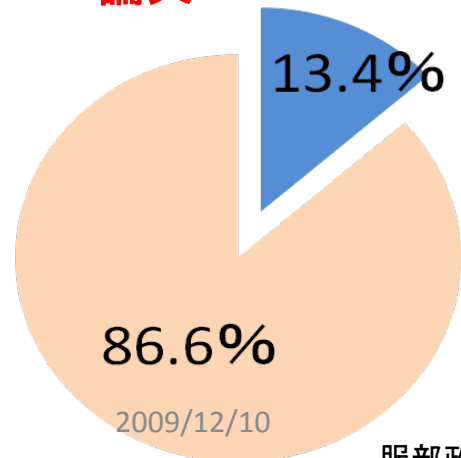
—患者調査と医療費—

	推計外来患者数 (千人) —平成20年患者調査—	受療率 (人口10万人対) —平成20年患者調査—	医療費(億円)薬剤等 含む —平成19年国民医療費—
筋骨格系および 結合組織の疾患	945.3※	740 ※	18,433

・推計患者数: 調査日当日に、病院等で受診した患者の推計数
 ・受療率: 推計患者数を人口10万対であらわした数

※ 疾病分類別では、筋骨格系および結合組織の疾患は、第2位

—論文—



■ 慢性疼痛保有者
 ■ 慢性疼痛非保有者

- ・慢性疼痛保有率は13.4%、約**17,000千人**
- ・痛みが和らいでいる人は22.4%、77.6%は不変

痛みの定義 (国際疼痛学会)

痛みとは組織の実質的あるいは潜在的な障害に結びつくか、このような障害をあらわす言葉をつかって述べられる不快な感覚・情動体験である。



Descartes, R. (1644)

慢性痛

急性疾患の通常経過あるいは創傷の治癒に要する妥当な時間を超えて持続する痛み。

本検討会における慢性の痛みとは

一定期間(月単位)以上続く痛み

かつ

痛みの存在が身体的、社会的に大きな影響を
及ぼすもの

慢性の痛み対策の必要性

身体面

外傷、術後、炎症、組織・神経の損傷、
ADL低下、他臓器疾患の併発

慢性の痛み

診療科の枠組みを超えた総合的、集学的なアプローチが必要

社会生活面

家族関係の悪化、仕事上・経済的
問題、訴訟、社会的ひきこもり

精神心理面

ストレス、不快、不安、怒り、
不眠、うつ状態、自殺など